

集中豪雨や台風に備える

～自分で行う災害への備え～

集中豪雨や台風は、大きな被害をもたらします。被害を未然に防いだり、軽減させるために、災害への備えを確認しましょう。



徳島市
イメージアップ
キャラクター
「トクシィ」

日頃からの備え

水はけを良く

雨どい、排水口、側溝などの掃除をして水はけを良くする



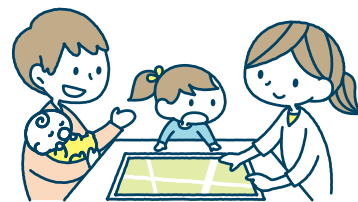
室内の安全対策

窓ガラスに飛散防止フィルムなどを貼る。飛来物にそなえてカーテンや雨戸を閉める。



家族との話し合い

- 避難所や避難経路
- 家族間の連絡方法
- ハザードマップなどで防災情報の確認



非常持ち出し品の用意

赤ちゃん用品、生理用品、替えの眼鏡など状況に応じて用意する。



飲料水、保存食



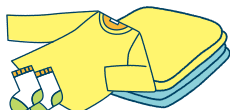
救急医薬品、常備薬など



携帯充電器



通帳などの貴重品



下着など衣料品、タオル



カイロ、ティッシュ



ヘルメット



雨具



軍手、ロープ、マルチナイフ

避難のときは
両手が使えるよう
荷物は最小限に



ラジオ、懐中電灯、電池



アルミシート(寝袋)、携帯トイレ



マッチ、ライター



ごみ袋



筆記用具、ガムテープ



「家族のタイムライン」をつくろう

家族のタイムラインは、家族や個人でできる台風対策をまとめたものです。台風が接近する時間からさかのぼって時系列で対応を決めておき、「いつ」「誰が」「何をやるのか」を、家族で話し合っておきましょう。

時	3日前	2日前	1日前	12～数時間前
取るべき対策の例	気象・台風情報の収集	気象・台風情報の収集	気象・台風情報の収集	気象・台風情報の収集
	避難所・避難経路の確認	隣近所との連絡方法確認	会社休業・学校休校の調整・確認 交通機関等の運行状況確認	水没に備えてマイカーの退避
	家や周りの点検 (ベランダ・雨どい・側溝)	買い出し・非常持ち出し品の確認	屋外にある物の飛散防止 安全な場所への早期避難	避難(安全な場所へ)の完了、外出抑制

台風
最接近

対策万全！
落ち着いて
行動しよう

風水害が予測される時

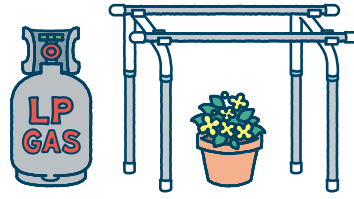
窓・雨戸を閉める

カギをかけ、必要なら補強をする。
カーテンやブラインドも閉める



家の外の点検

風で飛ばされそうなものは固定したり、
家の中へ格納する



水の確保

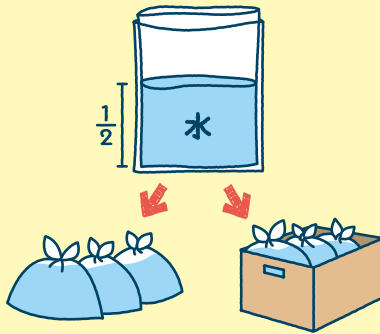
断水に備えて飲料水を確保し、また
浴槽に水を貯めるなどして生活
用水を確保する



知って便利 簡単な土嚢(どのお)のつくり方

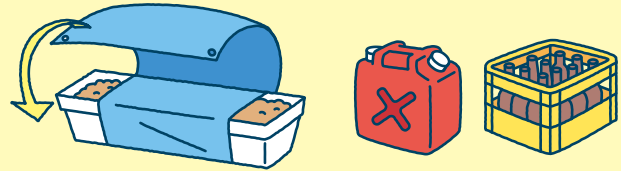
ゴミ袋を使う

40リットル程度
のごみ袋を二重に
し、中に半分程の
水を入れ、隙間な
く並べる。段ボー
ル箱に入れば強度
が増し、積み重
ねも可能。



シートを使う

土を入れたプランターを横に並べ、レジャーシートを巻
き込んで補強。プランターの変わりに水を入れたポリタ
ンクや重くしたビールケースも利用できる。



「警戒レベル4」で全員避難！ 防災情報の伝え方が5段階に！

「警戒レベル3・4」が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。
ラジオ・テレビ・インターネット・メールなどで確認し、呼びかけに応じて行動しましょう。

警戒レベル	危険度		一部避難			全員避難		危険大
	気象庁が発表する「気象情報」		徳島市が発令する「避難情報」					
	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5			
	早期警戒情報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮 注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保			
避難行動等	災害への心構えを 高める。 	避難に備え、ハザード マップなどにより、自らの避難行 動を確認。 	避難に時間のかか る人とその支援者 は避難を開始。そ のほかの人は避難 を準備。 	すみやかに避難場所 へ避難。移動が危 険な場合は、近くの 安全な場所や自宅の より安全な場所に避 難。 	すでに災害が発生し ている状況。命を守 るための最善の行動 を。 			

近所にも声をかけ合い、早めの避難を心がけましょう